

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成30年度事業 点検・評価調査

4-II-7

4-II
-7

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	世界遺産ガイドの養成
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	7 世界遺産ガイド養成事業	事業主体	佐渡市観光振興課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	佐渡市世界遺産推進課、佐渡市農業政策課、佐渡市社会教育課、佐渡観光交流機構、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会
事業概要	<p>【事業目的】 ○世界遺産ガイドの養成を通じて、来訪者への説明体制・ガイダンス機能の強化を図る。</p> <p>【事業内容】 ○世界遺産・ジオパーク・ジアスに係るガイドのほか、移動手段等に関する総合的な知識を持つガイドや海外からの来訪者に対応できるガイド、資産ごとに詳細な説明を行うガイド等の養成について、次世代の育成も含めて検討する。</p>		
30事業計画と実績	<p>【30年度計画】 ●世界遺産山ガイド養成講座として4月～9月の土日午前中に現地実習を開催する。 ●第2期の佐渡金銀山ガイド養成講座を開催する。 ●観光ガイドを対象とした講習会、リスクマネジメント研修会の開催する。</p> <p>【30年度実績】 ●第1期講座で養成したガイドにより、4/30～9/30の土・日曜日に、北沢浮遊選考場跡において実地研修を行った。 延べ実施日数 32日、延べガイド人数 1,364人 来場者アンケート(n=100) 良かったと回答した割合99% ●第2期養成講座を実施(1月～3月)</p>		
課題・今後の取組	<p>【課題】 北沢浮遊選考場以外での活躍の場の検討。 北沢浮遊選考場来場者アンケートの結果、有料の場合利用するかの問いに対しては66%が利用すると回答した。金額は200円から300円が多くを占めた。 単価を高く設定できないため、質を落とさずに回転率を上げる必要がある。 また、常駐するのか、予約制にするのか、料金徴収方法など自走への課題が多い。</p> <p>【今後の取組】 ガイド養成講座を継続しながら、ガイディングスキルを向上し、同時にガイドが活躍できる体制作りを行う。 具体的には、きらりうむ発着のコースを金銀山ガイドも実施できるように研修を充実させ、当日受付可能な体制を検討する。</p>		
事業評価	<p>【事業の達成度】 ◇当初計画に基づきガイド養成事業は進んでいることから本評価とした。 [a (b) c]</p> <p>【事業実施の効果】 [a (b) c]</p> <p>【総合評価】 [A (B) C]</p>		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。